

2022年6月27日

各位

不動産投資信託証券発行者名

東京都千代田区内幸町一丁目1番1号

いちごホテルリート投資法人

代表者名 執行役員

宮下 修

(コード番号 3463) www.ichigo-hotel.co.jp

資産運用会社名

いちご投資顧問株式会社

代表者名 代表取締役社長執行役員

岩井 裕志

問合せ先 執行役員ホテルリート本部長 岩坂 英仁

(電話番号 03-3502-4892)

ホテル運営状況のお知らせ（2022年5月度）

いちごホテルリート投資法人（以下、「本投資法人」という。）の2022年5月度におけるホテルの運営状況につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本投資法人が保有する21ホテルの売上高、RevPAR、客室稼働率およびADR

(1) 21ホテル合計

	2022年5月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2022年2月～2022年5月			2019年5月 【ご参考】
					期中通算	前年比	増減率	
売上高（百万円）	481.1	236.9	+244.2	+103.1%	1,671.8	+642.1	+62.4%	722.5
RevPAR（円）	4,350	2,374	+1,976	+83.3%	3,925	+1,260	+47.3%	6,887
客室稼働率（%）	79.8	52.0	+27.8	+53.4%	76.4	+19.5	+34.2%	83.1
ADR（円）	5,453	4,566	+888	+19.4%	5,139	+455	+9.7%	8,284

(2) 変動賃料導入の15ホテル合計

	2022年5月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2022年2月～2022年5月			2019年5月 【ご参考】
					期中通算	前年比	増減率	
売上高（百万円）	354.5	172.9	+181.6	+105.0%	1,255.0	+522.9	+71.4%	479.2
RevPAR（円）	4,490	2,548	+1,942	+76.2%	4,137	+1,363	+49.1%	7,812
客室稼働率（%）	86.0	59.8	+26.2	+43.8%	84.0	+20.3	+32.0%	88.9
ADR（円）	5,223	4,261	+962	+22.6%	4,926	+567	+13.0%	8,783

(3) 固定賃料の6ホテル合計

	2022年5月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2022年2月～2022年5月			2019年5月 【ご参考】
					期中通算	前年比	増減率	
売上高（百万円）	126.6	64.0	+62.6	+97.8%	416.8	+119.2	+40.1%	243.3
RevPAR（円）	4,017	2,035	+1,982	+97.4%	3,422	+972	+39.7%	6,361
客室稼働率（%）	65.0	36.8	+28.2	+76.5%	58.3	+14.8	+33.9%	84.6
ADR（円）	6,177	5,524	+653	+11.8%	5,868	+245	+4.4%	7,517

2. 本投資法人が保有する変動賃料導入ホテルの売上高、RevPAR、客室稼働率およびADR

ホテル／項目		2022年5月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2022年2月～2022年5月			2019年5月 【ご参考】
						期中通算	前年比	増減率	
ネストホテル 札幌駅前	売上高 (百万円)	29.6	18.3	+11.4	+62.3%	101.1	+24.4	+31.8%	67.1
	RevPAR (円)	4,748	3,049	+1,699	+55.7%	4,218	+1,007	+31.4%	10,950
	客室稼働率 (%)	94.1	81.0	+13.1	+16.2%	94.1	+5.9	+6.6%	98.6
	ADR (円)	5,047	3,764	+1,283	+34.1%	4,481	+844	+23.2%	11,103
ネストホテル 札幌大通	売上高 (百万円)	22.8	10.5	+12.3	+117.0%	76.5	+38.1	+99.2%	52.5
	RevPAR (円)	4,978	2,367	+2,611	+110.3%	4,364	+2,040	+87.8%	12,931
	客室稼働率 (%)	95.1	58.2	+37.0	+63.6%	94.1	+30.9	+48.8%	97.7
	ADR (円)	5,231	4,068	+1,163	+28.6%	4,637	+962	+26.2%	13,238
スマイルホテル 東京阿佐ヶ谷	売上高 (百万円)	18.7	13.4	+5.3	+39.5%	87.6	+21.4	+32.4%	30.4
	RevPAR (円)	5,319	3,767	+1,552	+41.2%	6,423	+1,660	+34.8%	8,550
	客室稼働率 (%)	84.1	93.4	-9.3	-10.0%	95.4	-0.1	-0.1%	98.1
	ADR (円)	6,325	4,034	+2,291	+56.8%	6,731	+1,743	+34.9%	8,713
ホテルエミット 渋谷	売上高 (百万円)	13.7	7.4	+6.3	+84.6%	51.7	+17.3	+50.5%	
	RevPAR (円)	6,151	3,327	+2,824	+84.9%	5,974	+2,012	+50.8%	
	客室稼働率 (%)	98.8	99.0	-0.1	-0.1%	98.9	+7.1	+7.7%	
	ADR (円)	6,223	3,362	+2,862	+85.1%	6,040	+1,726	+40.0%	
ホテルウイング インターナショナル 名古屋	売上高 (百万円)	37.9	9.8	+28.0	+285.0%	146.6	+100.5	+217.6%	40.0
	RevPAR (円)	5,455	1,276	+4,179	+327.6%	5,455	+3,942	+260.5%	5,234
	客室稼働率 (%)	100.0	34.4	+65.6	+190.4%	100.0	+60.8	+155.0%	83.5
	ADR (円)	5,455	3,705	+1,750	+47.2%	5,455	+1,596	+41.4%	6,267
スマイルホテル 京都四条	売上高 (百万円)	12.9	2.3	+10.6	+462.5%	41.6	+25.4	+156.8%	38.4
	RevPAR (円)	2,511	470	+2,041	+433.8%	2,184	+1,302	+147.6%	8,008
	客室稼働率 (%)	64.3	15.9	+48.4	+305.4%	60.1	+34.0	+130.3%	98.1
	ADR (円)	3,906	2,966	+940	+31.7%	3,637	+254	+7.5%	8,160
ザ・ワンファイブ 大阪堺筋	売上高 (百万円)	11.1	-	-	-	40.2	-	-	21.3
	RevPAR (円)	2,750	-	-	-	2,555	-	-	5,284
	客室稼働率 (%)	96.5	-	-	-	95.7	-	-	75.9
	ADR (円)	2,850	-	-	-	2,670	-	-	6,964
ネストホテル 大阪心斎橋	売上高 (百万円)	23.9	1.8	+22.2	+1,248.8%	84.5	+75.7	+857.7%	71.2
	RevPAR (円)	2,341	-	-	-	2,103	+1,772	+535.9%	7,117
	客室稼働率 (%)	62.8	-	-	-	60.7	+50.9	+517.0%	87.5
	ADR (円)	3,725	-	-	-	3,465	+103	+3.1%	8,133
ホテルウイング インターナショナル 神戸新長田駅前	売上高 (百万円)	24.2	9.0	+15.2	+169.8%	76.6	+26.5	+53.1%	
	RevPAR (円)	5,471	1,985	+3,486	+175.6%	4,458	+1,695	+61.3%	
	客室稼働率 (%)	71.3	31.5	+39.8	+126.7%	60.5	+18.3	+43.4%	
	ADR (円)	7,672	6,309	+1,363	+21.6%	7,374	+821	+12.5%	
ネストホテル 松山	売上高 (百万円)	32.1	10.8	+21.4	+198.9%	100.8	+40.8	+67.9%	55.2
	RevPAR (円)	4,163	1,446	+2,717	+187.9%	3,489	+1,312	+60.3%	6,876
	客室稼働率 (%)	79.8	32.1	+47.7	+148.7%	75.9	+25.2	+49.6%	85.7
	ADR (円)	5,214	4,504	+710	+15.8%	4,594	+306	+7.1%	8,022

ホテル／項目		2022年5月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2022年2月～2022年5月			2019年5月 【ご参考】
						期中通算	前年比	増減率	
ザ・ワンファイブ 岡山	売上高 (百万円)	26.7	15.3	+11.4	+74.9%	90.2	+31.4	+53.4%	37.5
	RevPAR (円)	3,991	2,244	+1,747	+77.8%	3,462	+1,182	+51.9%	5,549
	客室稼働率 (%)	98.3	88.6	+9.7	+11.0%	97.6	+10.0	+11.4%	87.5
	ADR (円)	4,060	2,533	+1,527	+60.3%	3,546	+944	+36.3%	6,342
ザ・ワンファイブ ガーデン倉敷	売上高 (百万円)	18.4	6.5	+11.9	+182.9%	42.6	+11.5	+37.2%	43.8
	RevPAR (円)	5,065	1,683	+3,381	+200.9%	2,994	+1,102	+58.3%	11,784
	客室稼働率 (%)	57.0	29.0	+28.0	+96.6%	40.9	+9.3	+29.2%	97.9
	ADR (円)	8,884	5,805	+3,079	+53.1%	7,321	+1,343	+22.5%	12,038
ヴァリエホテル 広島	売上高 (百万円)	39.8	45.8	-6.0	-13.2%	155.1	+0.4	+0.2%	
	RevPAR (円)	7,500	7,522	-22	-0.3%	7,500	+361	+5.1%	
	客室稼働率 (%)	100.0	100.0	-	-	100.0	+5.2	+5.5%	
	ADR (円)	7,500	7,522	-22	-0.3%	7,500	-29	-0.4%	
ザ・ワンファイブ 福岡天神	売上高 (百万円)	11.4	6.2	+5.2	+84.2%	38.8	+12.6	+48.0%	26.1
	RevPAR (円)	4,343	2,188	+2,156	+98.5%	3,777	+1,360	+56.3%	10,278
	客室稼働率 (%)	97.9	83.3	+14.5	+17.4%	92.2	+3.0	+3.3%	96.7
	ADR (円)	4,438	2,626	+1,813	+69.0%	4,096	+1,388	+51.3%	10,630
ネストホテル 熊本	売上高 (百万円)	31.2	15.9	+15.3	+96.1%	121.3	+56.7	+87.8%	33.2
	RevPAR (円)	5,000	2,302	+2,698	+117.2%	4,999	+2,593	+107.8%	4,662
	客室稼働率 (%)	100.0	59.1	+40.9	+69.1%	100.0	+35.9	+55.9%	71.4
	ADR (円)	5,000	3,892	+1,108	+28.5%	4,999	+1,248	+33.3%	6,526

3. 本投資法人が保有する固定賃料ホテルの売上高、RevPAR、客室稼働率およびADR

ホテル／項目		2022年5月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2022年2月～2022年5月			2019年5月 【ご参考】
						期中通算	前年比	増減率	
コンフォートホテル 釧路	売上高 (百万円)	18.1	10.6	+7.6	+71.4%	58.8	+14.8	+33.5%	15.7
	RevPAR (円)	4,402	2,558	+1,844	+72.1%	3,644	+902	+32.9%	3,797
	客室稼働率 (%)	75.4	47.4	+28.1	+59.2%	71.3	+14.3	+25.0%	67.4
	ADR (円)	5,835	5,398	+437	+8.1%	5,109	+303	+6.3%	5,630
コンフォートホテル 浜松	売上高 (百万円)	23.7	15.0	+8.7	+58.2%	81.3	+23.3	+40.1%	32.2
	RevPAR (円)	3,897	2,464	+1,433	+58.2%	3,457	+990	+40.1%	5,295
	客室稼働率 (%)	72.2	48.8	+23.4	+48.0%	65.1	+15.2	+30.5%	79.5
	ADR (円)	5,401	5,052	+348	+6.9%	5,312	+365	+7.4%	6,663
コンフォートホテル 中部国際空港	売上高 (百万円)	51.1	25.4	+25.7	+101.0%	168.7	+63.2	+59.9%	95.2
	RevPAR (円)	4,583	2,303	+2,280	+99.0%	3,936	+1,463	+59.2%	8,515
	客室稼働率 (%)	62.7	33.2	+29.5	+89.0%	53.7	+18.8	+54.1%	92.0
	ADR (円)	7,312	6,947	+365	+5.3%	7,332	+235	+3.3%	9,257
コンフォートホテル 鈴鹿	売上高 (百万円)	14.2	6.0	+8.2	+136.7%	52.7	+22.6	+75.0%	15.4
	RevPAR (円)	4,357	1,822	+2,535	+139.1%	4,167	+1,812	+77.0%	4,673
	客室稼働率 (%)	73.2	37.5	+35.6	+94.9%	74.1	+26.6	+55.9%	74.0
	ADR (円)	5,956	4,854	+1,102	+22.7%	5,623	+670	+13.5%	6,314
アーバイン広島 エグゼクティブ	売上高 (百万円)	14.6	3.7	+10.9	+293.8%	37.1	-9.6	-20.5%	39.0
	RevPAR (円)	2,747	698	+2,049	+293.8%	1,809	-467	-20.5%	7,350
	客室稼働率 (%)	45.3	11.6	+33.6	+288.8%	33.7	+1.7	+5.3%	91.8
	ADR (円)	6,070	5,993	+77	+1.3%	5,375	-1,744	-24.5%	8,011

- ※1 上述の数値は賃借人から取得した情報を原則としてそのまま記載しておりますが、一部は賃借人から取得した情報に基づき、いちご投資顧問株式会社にて集計しております。各月の数値については監査等の手続きを経ているものではなく、個々の数値の正確性について保証できるものではありません。また、上述の各数値は、今後提出する有価証券報告書等の資料に記載の数値と一致しない場合があります。
- ※2 「売上高」とは、賃借人が旅行宿泊施設運営事業およびその付帯事業により得た収入のことをいい、単位未満を四捨五入して記載しております。ザ・ワンファイブ大阪堺筋、ホテルウィングインターナショナル神戸新長田駅前およびスマイルホテル東京阿佐ヶ谷における店舗に係る賃料およびネストホテル熊本における外部貸し宴会場に係る賃料は含まれておりません。
- ※3 「RevPAR」とは、1日当たり販売可能客室数当たり宿泊売上高合計 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊売上高合計 (料飲売上、その他売上およびサービス料等を除きます。) を同期間の販売可能客室数合計で除した値を記載しております。
- ※4 「客室稼働率」は、以下の計算式により求められる数値を記載しております。

$$\text{客室稼働率} = \text{対象期間中に稼働した延べ客室数} \div (\text{対象期間中の全客室数} \times \text{対象期間の営業日数})$$
 なお、予定滞在期間の宿泊料を支払っているにもかかわらず滞在期限前にチェックアウトした客室に別の当日客を宿泊させる場合や、時間利用の場合に、上述「対象期間中に稼働した延べ客室数」に加算することがあり得るため、客室稼働率は100%を超える場合があります。
- ※5 「ADR」とは、平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊売上高合計 (料飲売上、その他売上およびサービス料等を除きます。) を同期間の販売客室数 (稼働した延べ客室数) 合計で除した値の単位未満を四捨五入して記載しております。
- ※6 当月末時点で本投資法人が保有するホテルは24ホテルですが、カプセルプラス横浜および下関駅西ワシントンホテルプラザについては賃借人から運営実績の開示についての同意が得られていないため集計対象外としております。また、ホテルリブマックス日本橋箱崎につきましても、賃借人から運営実績の開示についての同意が得られていないため個別での開示はしておりませんが、保有21ホテル合計および固定賃料の6ホテル合計には含まれております。
- ※7 コンフォートホテル長野については2022年5月31日付で取得していることから、今回は集計対象外としております。
- ※8 ヴァリエホテル広島は、2021年2月8日以降、広島県により一棟での借り上げがなされております。
- ※9 ホテルウィングインターナショナル名古屋は、2022年1月28日以降、愛知県により一棟での借り上げがなされております。
- ※10 ネストホテル熊本は、2022年2月1日以降、熊本県により一棟での借り上げがなされております。
- ※11 本投資法人保有以前のデータは、前所有者から受領したデータに基づき記載しております。
- ※12 本投資法人が保有する21ホテルの売上高、RevPAR、客室稼働率およびADRに記載されている2019年5月【ご参考】の各種指標は、2019年5月から現在まで継続保有している18物件について集計しており、ホテルウィングインターナショナル神戸新長田駅前、ヴァリエホテル広島、ホテルエミット渋谷は含まれておりません。また、ザ・ワンファイブ岡山は2019年5月時点では、コンフォートホテル岡山として営業しており、固定賃料ホテルとして集計しております。

4. 対前年同月比差異の主な要因

2022年5月につきましては、3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークとなり、国内レジャー需要の回復ならびに企業による研修、スポーツイベント等の開催により、すべての指標で前年同月実績を大きく上回り、RevPARは2020年3月以降で最も高い結果となりました。コロナの影響がなかった2019年同月比では、集計対象の21ホテルの合計で、すべての指標が大幅に下回っておりますが、今後、行動制限のさらなる緩和や人々のマインドの変化に応じて、ホテル需要も回復することが期待されます。

5. 収益向上に向けた取り組み

2022年5月25日付で取得を発表したコンフォートホテル長野は、ビジネスおよびレジャーの安定需要が期待できる、宿泊主体・特化型ホテルです。甲信越地域で初となる本ホテルの取得は、本投資法人のポートフォリオの地域分散ならびに収益安定性に、より一層寄与するものと考えております。

ホテル需要の回復が期待されるなか、今後ともホテルオペレーターと密接に連携を図り、心築(※)を通じてお客様の満足度と収益性の向上に努め、投資主価値の最大化を図ってまいります。

※ 心築(しんちく)とは、いちごの不動産技術とノウハウを活用し、一つ一つの不動産に心を込めた丁寧な価値向上を図り、現存不動産に新しい価値を創造することをいい、日本における「100年不動産」の実現を目指しております。

■ コンフォートホテル長野



以上